

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	文学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 文学部におけるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)の明文化に向けての検討を開始し、2011年度に公表する。	→「新中期計画：(教育) A-7」、「文学部の理念・目的・教育目標」	C	B	A	A	A
2. 各専修のカリキュラム方針・編成・内容・到達目標に関して、学内外者に理解しやすい説明文書を作成する。	→「新中期計画：(教育) A-1」、「文学部の理念・目的・教育目標」、「文学部開講授業内容」	C	B	A	A	A
3. 学部教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム間の関連性を図示し、履修心得とサイトで公表する。	→「文学部履修心得」、「学院ホームページ内『文学部授業内容』 (http://www.kwansei.ac.jp/Contents_3299_0_12_0_2.html)」、「学院ホームページ内『専門教育科目のカリキュラム』 (http://www.kwansei.ac.jp/Contents_6270_0_12_0_2.html)	C	C	B	A	A
4. カリキュラム委員会の機能および職責を改定する。	→「文学部組織図」、「文学部内規」、「文学部カリキュラム委員会規定」	C	C	A	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 学部として、ディプロマ・ポリシーの明文化と公表に取り組んだ。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2011年度にディプロマ・ポリシーを明文化し、公開した。2012年度以降、毎年、文学部履修心得に掲載している。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か ディプロマ・ポリシーは学部の従来からの共通認識を明文化したものであり、常にそれに立ち返って、教育の充実を図る。	☆
		その他	
			☆
目標2	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 学部として、各専修のカリキュラム方針・編成・内容・到達目標を示すものとしてカリキュラム・ポリシーを作成し、公表することに取り組んだ。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2011年度にカリキュラム・ポリシーを作成し、公表した。2012年度以降、毎年、文学部履修心得に掲げている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 学生に対しては、文学部履修心得を配布するだけでなく、各専修のカリキュラム方針・編成・内容・到達目標を、わかりやすく説明することを続けていく。	☆
		その他	
			☆
目標3	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 学部としてカリキュラム・マップを作成し、公表することに取り組んだ。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2012年度にカリキュラム・マップを作成し、文学部ホームページで公表した。また2013年度から文学部履修心得に掲載した。学生に、カリキュラムの全体像を理解・把握させる上で、効果があった。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、文学部履修心得にカリキュラム・マップを掲載するとともに、学生に対してわかりやすい説明を行う。	☆
		その他	
			☆

目標4	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 学部として、カリキュラム委員会の機能と職責を明文化することに取り組んだ。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2011年度に「カリキュラム委員会の組織と役割」を明文化し、2012年度から施行した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、カリキュラム委員会は、その役割を果たしていく。	☆
		その他	☆
備考			☆